

1 単元 やさいを そだてよう

2 教科の目標

野菜を継続して育てることで、その変化や成長の様子などに気付き、植物への親しみを持ち、大切に世話ができるようにする。

3 活用したICT

デジタルカメラ コンピュータ

4 活用したICTの工夫

- ・ 野菜を撮影する際、デジタルカメラの画像設定をフルサイズに設定して撮影することで、拡大表示でも明確に表示できるようにする。(デジタルカメラ)
- ・ 記録した画像をもとに、肉眼で見付けることが難しかった様々な部分の小さな変化や成長の様子などに気付かせる。(コンピュータ)

5 実践の様子

① 体験活動

目で見て・手で触って・においをかぐといった体験活動を十分に行い、育てている野菜の変化や成長の様子で気が付いたことを観察カードに記録した。

目で見て…大きくなった。葉が大きくなった。

手で触って…ざらざらしている。

においをかぐ…草のにおいがする。

この観察の際、育てている野菜をデジタルカメラで撮影させる。画像はフルサイズで撮影させるように、教師があらかじめ設定した。



子どもが撮影した画像

② 振り返り活動

観察後、すぐにコンピュータ室へ行き、撮影した画像をコンピュータの大きな画面で児童に確認させた。体験活動での見落としはないか、新たな気付きはないかという視点を与えて画像を見させた。

はじめは、自分が撮影した画像が映し出されることに興味をもっていた子どもたちであった。しばらくすると、もっと大きくみたいという声があり、画像拡大の方法を伝えた。すると、葉の裏に小さな毛を発見した子どもが現れた。次第に、他の子どもからも葉の形がみな同じようだという気付きが声としてあがった。

目の前に大きく映し出される画像を見るという取り組みに集中することができ、視覚的な気付きを増やすことがした。

6 成果と課題

- 自分で撮影した自分の野菜の画像をコンピュータを活用しながら拡大して見ることで、新たな気付きをもつことができた。
- 野菜の変化に対して目を向けることに有効であったが、成長の様子について目を向けることができなかった。今後、撮影した画像を見比べるといった活動を取り入れる必要があると考える。